

町田市教育委員会会議  
教育長 小池慎一郎 様



請願第 7 号

2025年2月21日

子ども達や保護者の声を受けとめて、少なくとも国の適正規模(12学級)を  
どちらかの学校が下回る実績(実態)ができるまでは、  
南成瀬小と南第2小の統廃合の延期を求めます(請願)

豊かな教育と公正な税金の運用を求める会  
事務局

連絡先  
電話



### 【請願の要旨】

子どもたちは、安全に近くの学校に通うのが一番です。

1月21日と22日の「成瀬小学校 学校説明会資料」では、2025年度通常学級の1年(106人=4学級)・2年(85人=3学級)・3年(111人=4学級)・4年(103人=3学級)・5年(105人=3学級)・6年(105人=3学級)と記載され、これまで南成瀬小も南第2小も1学年2学級で落ち着いて目が行き届いていたのに、統廃合の場合、1クラス34~35人の可能性を見せて、子ども達に目が行き届いた教育ができません。

前回の請願で、小学校の適正規模を「1学年3~4学級」としているのは、調査した355自治体では、町田市をはじめ7自治体と報告しましたが、調査を継続したところ、現在では町田市・清瀬市・小平市・相模原市の4自治体で、極めて稀で全体の1.13%です。

狭山市(埼玉県)は、2012年度の段階では、適正規模を「1学年3~4学級」としていましたが、児童数が減少する中で、現在では、適正規模を「1学年2~4学級」に変えています。

また、札幌市と曾於市(鹿児島県)では、適正規模を「1学年3~4学級」としながら「少なくとも2学級以上」との「ただし書き」も添えてあり、札幌市の小学校全校(198校)と曾於市の小学校全校(17校)の入手データを確認すると、札幌市と曾於市の適正規模は「1学年2~4学級」です。

国の適正規模=1学年2学級を適正規模から外している自治体は、適正規模を1学年3学級とする日野市・和光市(埼玉県)・石狩市(北海道)を加えて、355自治体のうち7自治体で、全体の1.97%にすぎません。

文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」(平成27年1月27日)でも、統廃合に際しては、国の適正規模(全校12学級)を下回る実績(実態)を前提としています。

(もちろん、全校6学級等、全校11学級以下でも学校として存続する事例は数多くあります)

相模原市では、小学校69校のうち17校が全校6学級ですが、地域の学校としての必要から統廃合は無く、青葉小学校(9学級)が光が丘小学校(12学級)に統合されます。

清瀬市では、小学校9校のうち全校9学級=2校、10学級=1校ありますが、「無理に統廃合すると子どもの通学が大変なので」と、現在統廃合の計画はありません。

小平市でも、2035年度までに19校→18校としていますが、現在統廃合の計画は無く、小平第8小が増築、花小金井小が増築中の状況です。

2025年1月10日~1月18日南成瀬小と南第2小学校の子ども達と保護者にアンケートをとりましたが、その中では、子どもは、92.5%が「今、通っている学校に、このまま通うのが良い」と答え、「家から遠くなるので通学が大変」・「交通

量が多い道路を通るのが心配。不登校になりそう」・「友達ができるか不安」・「校庭がせまい」など心配・不安の声が多いです。

保護者では、95.9%が「今、通っている学校に、このまま通うのが良い」と答え、「通学路距離が長くなることによる、事故等の不安」・「交通量が非常に多く、川沿いに急な階段もあり、危険極まりない」・「夏の暑い時期は熱中症が心配」・「教員に対しての児童数が増えると子供達に目が届くのか心配です」・「南第二小学校に入学した後に、これから統合すると知らされたのも大変不満です」・「命を危険に晒すこともあるのではないかと不安しかない」・「人数が多くなることでいじめ等が起きないか不安」・「生徒数が増えるのに、校庭が狭くなるのでは、昼休みなど全員が校庭に出ることができなくなるのではないかと心配です」・「町田に越してきた理由がなくなった」・「統廃合は絶対反対です！子供達がかわいそうです！」など、本当に子ども達の通学の安全や命の危険やいじめそして子ども達に目が行き届くのかと心配している声が多いです。

南成瀬小と南第2小のように両校とも国の適正規模(全校12学級)とおしの統廃合は、ずっと調査していますが、全国的に例がありません。全国で初めての事例となり、町田市は全国でワースト1です。「町田市子どもにやさしいまち条例」ができたことは良いことですが、全然子どもに優しくありません。

本町田・南成瀬地区統合新設小学校整備等PFI事業の施設整備費は、213億981万円で、それに対して国からの補助金は19億8000万円としています。

しかし、今回の統廃合は、国の適正規模(12学級)とおしの「統廃合」で、「統廃合の前提」を欠いており、文部科学省から、一旦「統合」の補助金が出たとしても、その補助金が適正に拠出されたのか、会計検査院が①合規性②効率性③有効性④経済性⑤正確性の観点で検査に入れば、文部科学省(→町田市)は返還せざるをえません。補助金の返還はもちろんですが、町田市は自治体として信用を失います。

このような状況を踏まえると、子ども達や保護者の切実な声も受けとめて、少なくとも国の適正規模(12学級)をどちらかの学校が下回る実績ができるまでは、南成瀬小と南第2小の統廃合は延期すべきです。

## 小学校の適正規模について

### ①【学校教育法施行規第41条】

小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。

※ 国＝文部科学省に 地域によっては1学年1クラスしかできない地域もあるの、そういう想定で限定して考えている。  
 条文の趣旨を確認

### ②適正規模の調査研究資料等を踏まえて

国立教育政策研究所(研究代表者:葉養正明)

●全国市区町村教育委員会における小中学校の適正規模や適正配置等に関する政策動向―学校統廃合答申類の分析 平成24(2012)年2月

※353自治体の分析に「町田市教育委員会の指摘(小学校の適正規模3～4学級:小平市・清瀬市・相模原市)」等も含めて最新整理(355自治体)。

### 【全国市区町村教育委員会の小学校の適正規模】

| 適正規模の学級数<br>(1学年)                   | その自治体                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3～4学級                               | <p>町田市(17学級以下26/42校=62% 6学級1校)<br/>           ※南成瀬小と南第2小はどちらも現在国の適正規模の12学級。両校とも国の適正基規模を下回っていない12学級(1学年2学級)どおしの統廃合は、全国的に初めての事例。</p> <p>小平市(17学級以下9/19校=47.3%)<br/>           全校12学級=2校 全校13学級=5校<br/>           ※2035年度までに→18校 現在統廃合の計画なし<br/>           小平第八小=増築 花小金井小=増築中</p> <p>清瀬市(17学級以下6/9校=66.7%)<br/>           ※清瀬小(21学級)と清瀬第8小(15学級)の2031年度統廃合は宅地造成が入り延期(実質無しに)。9学級=2校 10学級=1校<br/>           ※「無理に統廃合すると、子どもの通学が大変なので」と、現在統廃合の計画なし。</p> <p>相模原市(17学級以下42/69校=60.9%)<br/>           6学級17校=地域の学校なのでと統廃合無し<br/>           青葉小(9学級)<br/>           4自治体 →光が丘小(12学級)に統合</p> |
| (国の標準=適正規模)<br>「2学級」を適正規模から外している自治体 | <p>上記の4自治体(のほかに)<br/>           適正規模=3学級 日野市・和光市(埼玉県)<br/>           石狩市(北海道)<br/>           7自治体</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 【東京都では】                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 2～3学級                               | <p>新宿区・世田谷区・墨田区・江東区・大田区・杉並区・板橋区・北区・港区・練馬区・葛飾区・台東区・豊島区・千代田区・荒川区・江戸川区・八王子市・西東京市・東久留米市・福生市</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 2～4学級                               | 足立区・府中市・青梅市・武蔵村山市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 2学級以上                               | 文京区・渋谷区・中野区・中央区・目黒区・多摩市                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

適正規模が2～4学級に変わった自治体(←前回3～4学級＝調査継続で)

|              | 小学校<br>総数 | 設置基準を<br>充たしている | 設置基準を<br>充たしていない | 1学年1学級の<br>学校数    | 全校17学級<br>以下の学校数 |
|--------------|-----------|-----------------|------------------|-------------------|------------------|
| 狭山<br>児童減少で  | 15        | 14              | 1                | 全校7学級2校           | 13(87%)          |
| 札幌           | 198       | 182             | 16               | 9 全校12学級以下<br>77校 | 148(75%)         |
| 曽於<br>(鹿児島県) | 17        | 17              | 0                | 全校6学級以下<br>14校    | 17(100%)         |

小学校設置基準に基づく「運動場の面積」等について

|        | 小学校<br>総数 | 設置基準を<br>充たしている | 設置基準を<br>充たしていない | 1学年1学級の<br>学校数                        | 全校17学級<br>以下の学校数 |
|--------|-----------|-----------------|------------------|---------------------------------------|------------------|
| 町田(現在) | 42        | 37              | 5                | 1 ゆくのき学園＝大戸小                          | 26(62%)          |
| 八王子    | 69        | 63              | 6                | 9 全校7学級2校<br>全校児童35人＝2校<br>全校児童28人＝1校 | 58(84%)          |
| 立川     | 19        | 18              | 1                | 1 全校7学級1校                             | 14(74%)          |
| 多摩     | 17        | 17              | 0                | 1 全校7学級2校                             | 13(76%)          |
| 日野     | 17        | 16              | 1                |                                       | 8(47%)           |
| 青梅     | 16        | 16              | 0                | 2 全校5学級2校                             | 14(88%)          |
| 昭島     | 13        | 13              | 0                |                                       | 11(85%)          |
| あきる野   | 10        | 10              | 0                | 1 全校7学級2校                             | 9(90%)           |
| 武蔵村山   | 9         | 9               | 0                | 全校7学級＝2校                              | 7(78%)           |
| 国立     | 8         | 8               | 0                |                                       | 7(88%)           |
| 福生     | 7         | 7               | 0                |                                       | 7(100%)          |
| 羽村     | 7         | 7               | 0                |                                       | 7(100%)          |
| 清瀬     | 9         | 9               | 0                | 全校9学級＝2校                              | 6(67%)           |
| 小平     | 19        | 14              | 5                | 全校12学級＝2校                             | 9(47%)           |
| 相模原    | 69        | 60              | 9                | 全校6学級＝17校                             | 42(61%)          |

| 適正規模<br>3学級の自治体 | 小学校<br>総数 | 1学年1学級の<br>学校数 | 全校17学級<br>以下の学校数 |
|-----------------|-----------|----------------|------------------|
| 日野              | 17        |                | 8(47%)           |
| 和光(埼玉県)         | 9         |                | 4(44%)           |
| 石狩(北海道)         | 9         | 2 全校3学級1校      | 7(78%)           |

## 【請願の理由】

### 1. 小学校の「適正規模」について

小学校の適正規模を「1学年3～4学級」としているのは、調査した355自治体のうち町田市・清瀬市・小平市・相模原市の4自治体だけですが、お隣の相模原市教育委員会や清瀬市・小平市教育委員会を実際に訪ねて、説明をうかがうと、子ども達の教育に対する視点や統廃合に対して、子どもたちの命や通学の安全そして保護者と一緒に子どもたちの成長を支えようとしているのか、それぞれ温度差があるように感じました。

相模原市では、津久井地区を中心に全校6学級の学校が17校あるけど、それぞれ「地域の学校」として大切に地域の声もあるので、そこは統廃合はせず、各学校とも長寿命化の方向で考えていると言っていました。

清瀬市は、初めて行きました。東京都にしては畑が多く、現在世代交代でその畑が宅地造成で地域によっては人口が増えているとのことでした。清瀬小学校(21学級)と清瀬第8小学校(15学級)の2031年度統廃合計画がありました。その宅地造成の児童増加で学校が大規模化するので「延期」(実質無し)になっています。全校9学級＝2校、10学級＝1校、12学級＝2校ありますが、「無理に統廃合すると、子どもの通学が大変」なので、当面統廃合の計画は無いと言っていました。

小平市教育委員会では、「小平は余り人口が減ってなくて、増えている所もあり、小平第8小は増築したばかり、花小金井小は増築しているところ。2035年までに現在の19校→18校としているが、実際は2035～2040年頃までは現在のままで行くんじゃないかな」と話していました。

相模原市・清瀬市・小平市では、同じ適正規模「1学年3～4学級」ですが、「地域の学校」として根づいていることや「子どもたちの通学」も大事にして、統廃合を急いでいませんでした。ゆとりを持って子ども達を暖かく見ている・包んでいると感じました。

適正規模「1学年3～4学級」としながら、それを下回る17学級以下の学校は相模原市は42/69校(61%)、清瀬市6/9校(67%)、小平市9/19校(47%)で、地域の子どもの実態に沿った弾力的な運用になっています。

一方、町田市の適正規模「1学年3～4学級」は、アンケート結果を都合よく解釈して、統廃合を進めるために適正規模から2学級を外しているのが大きな特徴です。「近くの学校に通う」ことが、子どもたちの生活・教育の基本であるのに、通学の安全も確保せず命の危険も伴うので、今回の統廃合は「教育委員会による子どもいじめ」です。

### 2. 小学校の「設置基準」(文部科学省令)について

12月6日市議会一般質問や12月11日文教社会常任委員会の審議を通して小学校設置基準の「運動場面積」の認識が教育委員会や市議会に広がってきました。小学校の「運動場面積」の算定において、「小学校の飼育小屋や倉庫等は、運動場面積に入れるのかどうか」が論議されていました。

設置基準の所管は、「文部科学省初等中等局・初等中等教育企画課教育制度改革室」(電話:直通 03-6734-2007)で、施設台帳の記入の手引き＝「公立学校施設台帳作成提要」は、「文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部施設助成課(電話:直通 03-6734-2078)」が作成しています。

私は、「初等中等教育企画課教育制度改革室」と「施設助成課」の両方に、「小学校の飼育小屋や倉庫は運動場面積に入れますか」と確認したら、「教育制度改革室」も「施設助成課」も両方とも、「飼育小屋で運動するわけないでしょ、元々『飼育小屋』も倉庫も運動場の面積にカウントしませんよ」と笑っていました。

新井よしなお議員の質問に対して、学校教育部長は、「東京都教育委員会・都立学校教育部営繕課（電話：03-5320-6770）を通して尋ねたところ、文部科学省施設助成課から、『地域の実情に応じて判断してください』と回答をもらったので、飼育小屋や倉庫は運動場面積に含めている」と答えていました。

そこで、念のため、私も都教育委員会・都立学校教育部営繕課に電話して、「小学校設置基準で、東京都の運用として、飼育小屋は運動場面積に入れるのでしょうか、それとも入れないのでしょうか」と尋ねたら、都立学校教育部営繕課は「この課は、学校施設の整備や建替え等の課で、そういうことはわかりません。文部科学省に尋ねてください」と言いました（学校教育部長が言った「地域の実情に応じて判断して（ます）」とも言われませんでした）。「あそこはどうか」と親切に他の課に電話をつないでくれましたが、その課でも「わかりません」と言われ、結局東京都教育委員会からは、これと言った説明はありませんでした。

横浜市教育委員会等も、わからない時は、直接文部科学省に尋ねていますから、学校教育部長や町田市教育委員会の方々も、「教育制度改革室」と「施設助成課」両方に直接確認したら、文部科学省の見解が一致しているのか、「教育制度改革室」と「施設助成課」の見解が違っているのかが整理されます。

|     | 小学校<br>総数 | 設置基準を<br>充たしている | 設置基準を<br>充たしていない |
|-----|-----------|-----------------|------------------|
| 横 浜 | 334       | 179             | 155              |
| 川 崎 | 114       | 68              | 46               |

やはり、全国の中でもかなり水準の低い町田市教育委員会の答弁により、大切な市議会の審議が深められていません。市議会議員に対しても失礼です。

学校教育部長や教育委員会の皆さんは、真摯に教育について学習を深めて、子どもたち・保護者・市民と一緒に、子どもたちの成長を支えてほしいです。

明治の初めに、日本に精神医学を導入した呉秀三博士（東京大学）は、「日本の精神障害者はもって生まれた不幸のほかに、日本に生まれた不幸を背負っている」と調査報告書の中で述べています。町田の子ども達は、このままでは、町田で教育を受ける不幸を背負っていると言わざるをえません。

### 3. 子どもたちを1人の人間として大切に

子ども達や保護者の声に耳を傾けてください

子どもは、優しく、1人の人間として大切にされる中で、その子なりの持ち味や個性を、本人が確かめながら、少しずつ成長し自分を形づくっていくと思います。これは、大人もそうですが、本当の自分を大切にすることで、相手も大切にできるようになり、それが人間に対する優しさにつながっていくものと思われます。

町田市の「新たな学校づくり推進計画」には、1人1人を大切にあるいは尊重する「人間の優しさ」が大変うすいので、実際に教育を受ける南成瀬小や南第2小の子ども達やその保護者に2025年1月10日から1月18日にアンケートをとりました。統廃合予定がまじかでしたが、子ども達や保護者の方々から貴重な声が寄せられそれをそのままとめましたので、ぜひ市教育委員会の責任職をはじめ職員1人1人に、それから教育委員の皆さんも、子ども達や保護者の声にひとつひとつ目を通して、自由に真の教育委員として、請願について一緒に考えていただければ幸いです。

# 南成瀬地区 子ども、保護者アンケートの お願い

53件の回答

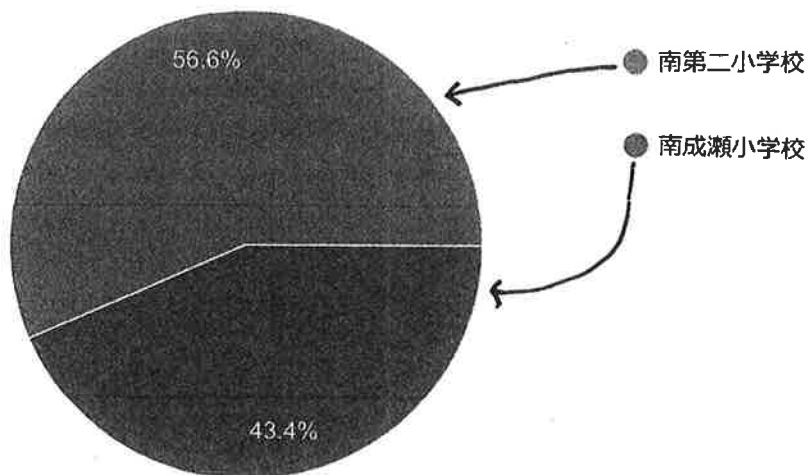
分析を公開

自分・お子さんの通う学校を教えてください

コピー

(かよっているがっこうをおしえてください)

53 件の回答

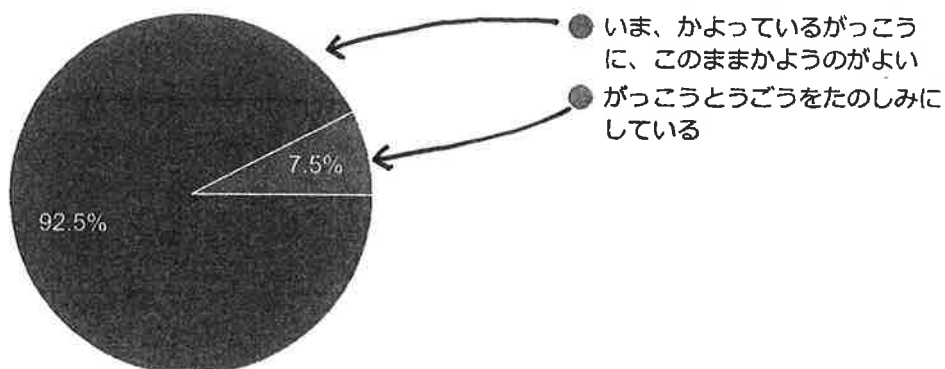


こども：

じぶんのかんがえに、ちかいものをえらんでください

コピー

53 件の回答



こども：

ふあんなことなどがあれば、きにゅうしてください

32 件の回答

校庭がせまい。先生やルールがかわる。人数がふえる。

今のままの学校がいい。

通い慣れた場所がいい

遠くて朝、学校に間に合わない

南成小の人と仲良くできるか不安、先生が変わるのも不安、長く歩くのが大変、給食は二小のを食べたい。

遠くなるのが嫌。

今までの慣れた学校の方がいい。

学校に行くのが遠くなる。

どんなお友達と一緒にになるのか不安。

ないです。

仲良くできるか不安

すごく遠くなるので、歩いているとちゅうで急にトイレに行きたくなったらどうしたらいいんだろう。

家から遠くなるので通学が大変。川の近くになるので大雨の時が心配。

今できていることが、出来なくなるかもしれないこと。

例えば、マーカーが使えるかもしれないこと。 友達の呼び方。 先生の雰囲気。

人数が多くなるから、校庭で楽しく遊べなくなること。

友達関係が悪くならないかが心配。

慣れている学校がなくなることが悲しく、新しい学校に慣れれるか心配。

学校統合すると、学校に慣れずに不安。

人数がふえること

知らない学校で生活すること

特にない

学校が遠いから行くのが大変

友達関係

学校がとおくなる

友達が増えすぎて心配

通学路が長くなり、曲がり道や信号が多くなる為、迷ってしまったり、不審者などが出てきたときに困りそうだなと思います。

私は統合の際六年生なのですが、全然話したことない人や歩いたことが無い校舎、授業の感じや考え方が違って、いじめなどの問題もクラスで心配されていました。

クラスでも賛成派は2割いたかも怪しいぐらいで、子供の意見を聞かず統合まであと少しになっていたことに怒っている人も多く、このまま学校生活を楽しむというのは無理なのではないかと思います。

とおくまでかようこと

あたらしいおともだち

がしんばい

南成瀬小といっしょになって友だちがふえるのを楽しみにしています。3年後に新しい校舎ができるのも楽しみなので、計画通りに行かないことが不安です。

雨が降ったり、交通量が多い道路を通るのが心配。不登校になりそう。

新しい長い道が怖い。

4月になるのがいやだ。

仮校舎が遠いので嫌です。

合併するのがいやです。

どうしてしないといけないんですか？

弟が小学校が遠くなってしまうので心配です。

子供も、嫌だ嫌だ、と言っており、登校拒否児童も増えるはずです。第二小は新規の生徒を取らず、今通っている5-6年生が卒業する位まで待つべきです！今の一年生が3年生（中学年）になるくらいまで準備するべきです！！！！

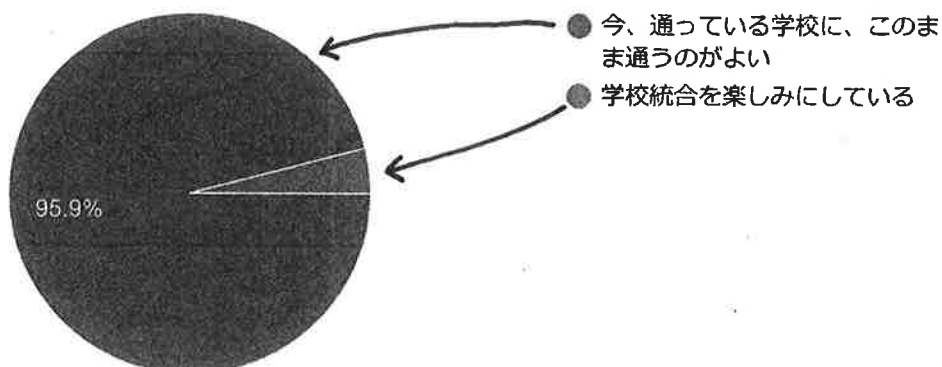
向こうの小学校に友達がいないから、友達ができるか不安。先生が変わるのが不安。新しい環境が不安。遠くまで歩くことになり、ちゃんと学校に行けるか不安。

保護者：

自分の考えに、近いものを選んでください

コピー

49 件の回答



保護者：

不安なことがあれば、記入してください

39 件の回答

小学校の子どもが時間通りに路線バスで通学できるとは思えません。時間通りに帰らせなければならぬため、学校や先生にも負担になると思います。

2校の学力の差 家庭環境の差

統廃合は絶対に反対です！子供達がかわいそうです！登校時間が大幅に変わり負担が大きいだけでなくメンタル不安定になります！せめてもう少し時間をかけて準備万端にしてからにして下さい！途中で変わるほど普段が大きいことはありません！

投稿距離の延伸。小学1年生が学童終わりの遅い時間に一人で帰宅できると思えない

新しく学校ができることにより、学校のルールをはじめとする全ての共通理解が図れないと予想されること。問題が起きてから検討対応します、これから考えますということが起きることは必然。さまざまな混乱が子供も保護者も先生もわからないまま学校生活がスタートし、教育的な問題だけではなく、命を危険に晒すこともあるのではないかと不安しかない。

## 通学

通学路と、人数に合わない学校の大きさ。

安全面、学習面、生活面、全てが不安です。南第二小学校に入学した後に、これから統合すると知らされたのも大変不満です。

とにかく遠いし、路線バスの時間帯を見ても通学に使えと思えない。とくに帰り。学校の前で乗り降りできるならまだしも、不便で不安な路線バスを使うと言っている家庭を聞いたことがない。路線バスが通学に使えと判断した方は身内の小さな子にも同じことを言えるのか聞いてみたい。あと交通費を全額支給しないのはなぜ？

夏の暑い時期は熱中症が心配。行きは保冷剤などで対策できても帰りは難しい。帰宅時間が暑さのピークで心配。禁止されても車で送迎も考えている。そうなると働く時間が制限されるだろうと覚悟している。

せめてスクールバスを再検討して欲しい。毎日、無事に帰ってくるのか？と通学に心配しながら3年間過ごす親の気持ちを考えて欲しい。

通学に30分かかる。重たい荷物を持って、特に夏場など途中で具合が悪くなったりしないか心配。

教員に対しての児童数が増えると子供達に目が届くのか心配です。あと通学時間が長くなる事。

PTAなどの保護者の会で親の負担が大きくなるのではないかと、人数が多くなることでいじめ等が起きないか不安。

運動会などの行事で今まで通りに場所を確保出来るのかが心配です。

環境面で言うと、夏の通学（熱中症の心配など）、学校周辺の歩道の狭さ。

学校生活面で言うと、本人は普通級に在籍している発達障害です。今までは周囲の理解があって過ごして来られたが、児童数が増える事によって今後どうなっていくのかが不安です。（いじめ等に発展しないか）

統廃合による混乱や子ども同士のトラブル

統合によって人数が増え、対応の遅れや、目が届かない事がおこるのではないかと

### 【通学について】

我が子の足では到底30分以内で登下校できる距離ではない。本数の少ない神奈中バスの利用は

現実的ではなく、40分あるいは50分かけて登下校することになる。交通量が非常に多く、川沿いに急な階段もあり、危険極まりない。どこを通っても安全など確保できない。また、日によっては5kg以上にもなる大荷物を持って長距離を歩くことになる。もはや虐待だ。親が登下校に付き添うには仕事を調整しなければならず、収入減につながる。家計が苦しくなれば、いずれ子供の進学にも影響する。

なぜ我が子がこんな目にあわなければならないのか。教育委員会は「ご理解ください」と繰り返すが、教育委員会こそこちらの状況を理解してほしい。

「これまでに分かったこと」に記載いただいた通り、統合に伴い通学に時間が掛かるようになり、交通事故や誘拐等の危険性が高まることに懸念がある。学童についても、遅い時間に一人帰りさせることに抵抗がある。十分な駐車場スペースは確保されるのか。

通学路の道路整備等の話もなく、遠方の生徒に対して市バス利用を提案し、バス代の補助とするのは適切な対応と思えない。少子化対策のように発信しているが、学校が減り子育て世帯に魅力ある街でなくなれば、もっと少子化を加速させるのではないか。

登下校の安全が心配。 人数が多くなるので先生の1人1人の対応が心配。

通学時の安全。

交通量が多い通りを通うため、事故の心配が常にあります。

通学距離が長くなることによる、事故等の不安。

学校統合すると色々な意味で学校自体も子供も落ち着かないし、人数増えると先生の目も届きにくくなる。そもそも学校統合なんて望んでもないのに、勝手に決めて話を進める事は納得していない。該当してしまう子供や保護者の気持ちを考え、もう少し時間を置いて欲しい。

通学時間が長くなること。特に夏が心配。

運動場や体育館など狭く、運動会などの行事が満足におこなえるのか。

通学が遠くなることが心配です。

通学距離が長くなり、交通事故などの心配が増える。町田に越してきた理由がなくなった。保護者の心配がなくなる施策が欠如している。

遠くなり、安全に通えるか不安

人間関係。

通学路が遠すぎるので、交通事故や熱中症が心配。

特にない

通学時間が長くなり、交通量の多い道も通るため、交通事故や不審者にあわないか心配しています。

統合を進めるのであれば、スクールバス、もしくは送り迎えのための駐車場の整備を検討してもらいたいです。

暑い時期は熱中症の心配もあります。

生徒数が増えるのに、校庭が狭くなるのでは、昼休みなど全員が校庭に出ることができなくなるのではないかとということも心配です。

人数が増えることでイジメなどあうのでは不安

学校が遠くなると通学時の安全面が心配です。

学校と家の距離が遠い

通学時間が片道30分はかかる。障害児のため付き添いも必要。毎日のこととなると不安しかない。

距離が遠くなり通学時の交通事故や治安が心配

あまりにも一方的な決定だったので、これからでも保護者の意見が少しでも反映されるなら行政にも期待したい

学校では統合に向けて生徒同士の交流や校歌の作成などの準備が進んでいます。統廃合によるデメリットもあるかとは思いますが、現行のままで維持するには費用の面、教師獲得の面で難しいのではないのでしょうか。南成瀬小跡地に避難所を作る、スクールバスを作る等の方が現実的ではないかと思います。反対運動により老朽化した校舎を使い続けることに強い不安を感じます。

統廃合により通学時間が長くなる。事故や事件が起こった場合は全て市教委が責任を負うことになる。今、教育委員会にいる人は異動しているが、事件事故が起こったときにその場にいる職員が大変になる。それでいいのか。

学校がなくなった場所に、次の施設はすぐできるのか。長時間放置すると地域が荒れる。市教委に電話がたくさんくる。大丈夫なのか。私は何かあればすぐ電話しようと思っている。

避難所と通学路の安全が明確になるまでとあるが、子どもは何をするかわからない。このSNSの利用者が多い時代に完全な安全などありえない。冷静に考えた方がいいと思う。

子どもが減ることは地域が衰退することにつながる。魅力のある市にするつもりがないのか。不安である。

参考資料にも載っていたが、通学路が長くなることで、炎天下、悪天候での登下校の不安。事故、誘拐の不安がある。

ランドセルの重さや荷物の多さも考えてほしい。

今年入学し、やっと慣れた通学路をまた覚え直し慣れていけないといけない。

子ども自身が新しい通学路を嫌がり不安がっている。新しい環境が得意ではないのでかなりストレスになると思う。

毎日送り迎えが出来ればべつだか無理な話。

通学路が遠くなるので心配、避難所がどうなるのか心配、他の地域では計画が止まってるって聞いて、憤りを感じる。この計画に納得したわけではない。意見を聞くふりをして、全く聞いてくれなかった印象がある。この活動に感謝します。

新しい学校にうつったとき、遠くなるため登下校が心配です。

交通事故、夏の暑さ、荷物の重さなど、対策はしてくれるのでしょうか？

具体的な対策としては、通学路の歩道の整備、信号機の設置、ガードレール設置などしてほしいです。

小学校が遠くなるということで、スクールバスの導入をしてほしいと思っています。路線バスのバス停が遠いのでそもそも使えない。